



## アラブの春と民主主義

札幌学院大学総合研究所シンポジウム開催のお知らせ

「アラブの春」の騒乱によって、何がもたらされどんな課題に直面しているかを、政治・法・経済、中東・北アフリカ地域研究の専門家、モロッコ王国大使の5名のシンポジストを迎え、民主主義および地域安全保障という視点を中心に明らかにし、何がなされるべきかを提示します。

つきましては、下記のとおりシンポジウムを開催しますので、多くの皆様にお越しいただきますようご案内申し上げます。

日時：2012年11月11日(日) 13:00~16:00

場所：札幌学院大学 G館SGUホール（江別市文京台11番地）

【第1部】講演（13:15-14:35）「政治・法・経済」

テーマ：新たな地政学的環境におけるモロッコ

講師：Prof. Elmostafa Rezrazi（エルモスタファ・レズラジ）

（札幌学院大学法学部客員教授）

テーマ：国際人権と第三国の権限

講師：松本 祥志（札幌学院大学法学部教授）

テーマ：民主主義と発展：国民が中心になるとき

講師：Prof. Aziz Chaker（アジズ・チャッカー）

（シディ・モハメッド・イブン・アブデッラー大学経済学部教授）

【第2部】講演（14:45~15:45）「歴史・日本との関係」

テーマ：2011年議会選挙報告

講師：中川 恵（羽衣国際大学現代社会学部教授）

テーマ：『アラブの春』後のモロッコ

講師：H.E. Dr. Samir Arrour（サミール・アルール）

（モロッコ王国大使館大使）

【第3部】議論・質疑応答（15:45~15:55）



いずれの企画も入場無料、事前申込み不要です。直接会場にお越しください。

問合せ先：札幌学院大学大学院・研究課（Tel：011-386-8111 内線3414）

※この資料は、江別市政記者クラブ、北海道教育記者クラブに配布しています。